

地域支援可能シーズのタイトル：

自律的な安全安心情報共有システムの開発



(ふりがな) 氏 名	うらかみ み さ こ 浦上 美佐子	E-mail	urakami@tokuyama.ac.jp
		電話番号	0834-29-6307(研究室)
		FAX 番号	0834-28-7605 (総務課)
職 名	教 授	学位・資格	博士 (理学)
所属学会・協会	情報処理学会、電子情報通信学会、日本航海学会、日本教育工学協会		

地域支援可能シーズの名称および概要

平常時／非常時における安心安全のための情報共有を自律的におこなうシステムを開発することを目的として、無線によるコンピュータネットワークを用いた自律的な情報提供システムの開発や、情報弱者（高齢者や小学生等）向け ICT 利活用のための支援モデルの提案等を行っています。

1) 自律的無線ネットワークによる被災情報提供システム

災害後に各避難所に免許不要な無線基地局を設置し、バッテリー等により電源を供給するだけで、無線回線の設定や被災情報の交換・共有を自動的に行い、災害対策本部における被災情報の早期把握を目指しています。

2) 定期船運航管理のための G 空間情報活用手法の提案

バスや電車等の陸上公共交通機関と定期船の海上公共交通機関との MaaS 連携を目指しています。連携するためには、定期船の動的データを GTFS Realtime 形式等のような陸上の公共交通機関で用いられている標準データ形式に合わせ、かつ、データの品質保証の検証を行う必要があります。実証実験を行いながら、活用手法を提案していきます。

3) CLASS B AIS (簡易 AIS) の記録データを利用したアプリケーション開発

海上交通情報の精度向上のため、小型船舶への Class B AIS の普及を目指すため、リアルタイムな衝突回避目的の使用だけではなく、簡易 AIS の発展的使用を推進するためのアプリケーションの開発を行っています。

※AIS：船舶自動識別装置 (Automatic Identification System)

4) ネットワーク技術基礎講座の開催

ネットワーク技術を学ぶ機会が無かった方を対象に、新たな学習をはじめのきっかけを得ていただけるような、基礎的なネットワークの用語や仕組みの解説、これらの知識をもとにシミュレータ (Cisco Systems 社の無料ソフトウェア：PacketTracer) を使ったネットワーク構築体験の講座を実施します。

5) 防災出前授業の実施

第一のサバイバル (自分の命は自分で守る) をテーマに、非常時の初動対応の方法は？ 安心安全のための情報とは何か？ 連絡方法は？ といった内容で、防災士としての知見を踏まえて、小中学生向けの「情報」に視点をいた防災出前授業等を実施します。

適用実績

提供可能な設備・機器・解析ソフト・教材・ビデオ・PPT 等の名称・型番 (メーカー) 及び概要
